地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2017
7月
No.38

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[院内専門センターのご案内]

消化器センター
「食道・胃・腸から肝臓・膵臓まで幅広い内蔵の病気が守備範囲です。」

[AGMC委員会・部会めぐり]

患者サービス委員会

- ●立体駐車場オープンのお知らせ
- ●スタッフのつぶやき
- ●ぶらり～っと病院探訪

[新たな診療取り組み]

大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療 “TAVI”
開始後1年間の成功率100%
「超」低侵襲TAVIも導入

消化器センター

院内専門センターのご案内

複数の診療科・部門を一つにまとめ、診療機能を統合させた当院の《センター》をご紹介します。

食道・胃・腸から肝臓・膵臓まで幅広い内蔵の病気が守備範囲です。

左から：
消化器内科 木村医師、消化器外科 牧 医師

消化器センターの特徴

消化器内科と消化器外科が中心になり、最新の内視鏡治療から腹腔鏡手術、肝臓・膵臓の複雑な手術まで幅広く担当しています。

組織構成

【消化器内科】

胃・大腸X線透視、胃カメラ、大腸ファイバーをはじめ各種の内視鏡検査で診断を付けるとともに、ポリープや早期がんの内視鏡治療を行っています。胆石の治療も内視鏡で行える場合が有ります。また、ウイルス性肝炎、肝硬変、膵炎などの診断や治療も受け持っています。ピロリ菌の治療を受け持つのも消化器内科です。

消化器センター（内科）のメンバー

消化器内科の治療と検査

24時間救急対応

消化管全域（食道～胃～小腸～大腸）の検査診断体制
上部・下部消化管内視鏡、バルン・カプセル小腸内視鏡 など

早期消化管癌の内視鏡治療
食道・胃・大腸癌の内視鏡治療ESD、EMR

外科・放射線科と連携した最先端の集学的治療
化学療法、化学放射線療法 など

症状緩和医療
内視鏡的・経皮的減黄術、消化管ステント など
減圧術、疼痛緩和 など

C型肝炎ほか、肝疾患最新治療

【消化器外科】

消化器内科で診断を付けて
がん、胃癌、大腸がんの多く
軽くなり、手術の創は以前よ
た癌や、血管・他臓器合併切

消化器センター（外科）のメンバー

消化器癌に対する低侵襲手術と最高難度手術

胃癌、大腸癌には腹腔鏡による低侵襲手術を積極的に取り入れ患者様の負担軽減を目指しています。肝胆膵領域の進行癌は切除に高度の技術を必要としますが血管合併切除再建を積極的に取り入れることにより根治を目指しています。

消化器内科科長
兼 内視鏡
センター長

木村 利幸

京都大学医学博士、京都大学医学部臨床教授
日本内科学会認定医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化管学会暫定専門医

消化器外科科長
兼 副院長

牧　淳彦

京都大学医学博士、日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医、肝臓専門医

外科科長
兼 医療安全
担当部長

田村　淳

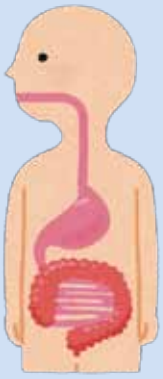
京都大学医学博士、日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医

いただいうち手術などの外科治療が適している患者様を受け持ちます。今日では、食道が腹腔鏡手術で行うことが出来るようになっており、それに伴って手術後の傷の痛みはり小さくなり入院期間も短くなっています。また、腹腔鏡では治療できないような進行し除が必要な状態に対しては開腹手術で根治を目指します。

消化器外科

腹部救急疾患に対する緊急手術と術後集中管理

穿孔性腹膜炎や腹部外傷などの腹部救急疾患には迅速に対応し緊急手術から術後の集中管理を行います。



【化学療法】

手術適応にならない場合や、手術前・手術後・再発転移などに対しては化学療法部と共同で最新の化学療法（抗がん剤治療）を行います。

受診いただく患者様へ

最近では、胃カメラなどの内視鏡や各種の手術も、一昔前に比べると格段に負担が軽くなっています。しかし、寿命が延びるにつれて、いろいろな余病を持った患者様に検査や治療を行う機会も増えています。受診される際には、かかりつけの先生に紹介状を頂き、病状が担当医に十分に伝わるようにご配慮ください。
安全かつ効果の良い治療をお受けいただくためには、患者様も治療スタッフの一員であるというお気持ちで病気を克服していきましょう。

AGMC 尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center

委員会・部会めぐり

－豊かな医療を育むための協議－

適切な運営および安全な医療提供を行うために、
多職種で運営されている院内委員会・部会です。

患者サービス委員会

副院長兼看護部長　箕浦 洋子（会長）

患者さんとともに！職員とともに！“For you”の気持ちを胸に、最高の患者サービスを目指し活動しています

《構成メンバー》計13名

- 副院長兼看護部長／箕浦 洋子（会長）
- 診療部／山田 圭介（地域医療連携部長・脳外科）（副会長）
  萩原 正典（眼科）
- 看護部／奥　由香、河原 長子、奥村 悦子、藤原 啓子
- 薬剤部／若松　亮
- 放射線部／藤井 康司
- 検査部／前田 沙紀
- 総務課／佐伯弘一郎
- 経理課／金山　彩
- 業務支援課／吉田　実（事務局）

患者サービス委員会メンバー

クリニクラウン病院訪問

接遇研修の風景

委員会の紹介

催し物など患者サービスに係る事業の実施や接遇の改善など、サービスの更なる推進を目的に活動しています。月1回の会議は、多職種が集まり、自由な雰囲気で忌憚のない意見を言い合いながら、それぞれの立場で改善策の提案を行っています。“AGMCで医療を受けてよかった”と思って頂けるOne Moreのサービスを目指し活動しています。

活動内容

1. 毎月頂いた患者さんの声を確認させて頂き、改善策を検討しています。
2. 年間計画に基づき、患者さんや職員対象の催し物の実施に向けて活動しています。

【平成29年度事業計画】

実施予定月	内　容
6月21日	第1回接遇研修（第2回は未定）
9月16日	癒しのコンサート
9月（日時未定）	落語講演会
11月（日時未定）	クリスマスツリー点灯式 クリスマスツリー設置
12月（日時未定）	クリスマス合唱コンサート
日時未定	クリニクラウン病院訪問

3. 病院をラウンドして、改善点を議論しています。

最先端医療

ハートチーム（循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、看護部
臨床工学部、放射線部、臨床検査部、リハビリテーション部）

AGMC 新たな診療取り組み

【経カテーテル的
大動脈弁留置術】

大動脈弁狭窄症に対する（タビ）カテーテル治療“TAVI”開始後1年間の成功率100%「超」低侵襲TAVIも導入

TAVI報告：第4弾

当院
ホームページでも
“TAVI”を特集
していますので
ご参照ください

TAVI（タビ）とはカテーテルを使って生体弁を留置する新しい手術法で、従来の手術と異なり心臓を止めずに行え、人工心肺も不要です。そのため体への負担が軽いのが魅力です。

経カテーテル的大動脈弁留置術
Transcatheter Aortic Valve Implantation ; TAVI

1年間の成功率100%を達成

平成２８年５月から当院でTAVI（タビ）を開始し、平成２９年５月までの期間に総計４０例以上の治療を実施しました。最高年齢９２歳を筆頭に高齢者が多く、かつ開胸手術のリスクの高い症例ばかりでしたが、全例で重篤な合併症なく人工弁の留置に成功し大動脈弁を開大できたため、成功率１００%を達成したと言えます。更に３０日死亡率は０%でした。当然ながら、これらの成績は全国トップレベルです。

成功の理由はハートチームと病院の総合力

この治療は多職種からなるハートチームで実施しますが、当院の高い成功率の理由はハートチームの各メンバーが自分の専門分野を高いレベルと強い責任感で分担できていることにあります。また、本治療を術前から術後まで支えてくれる全ての職種や、総計４６の診療科によりあらゆる分野の疾患にも対応してもらえる当院の総合力のおかげでもあり、この場を借りて感謝の意を表したいと思います。

当院は緊急症例や特殊症例も治療することが許可されています

本治療は学会の指導により一定の実績を達成するまでは画像データなどを提出して確認してもらい治療許可を得る必要があります。当院は昨年の時点で既に実績を認められ、当院単独の判断で自由に治療が可能となりました。そのため緊急症例や特殊な難易度の高い症例も治療が可能となっており、実際に上記の４０例あまりの中には緊急および特殊症例が何例も含まれております。この認可を得ている施設は阪神地区では平成２９年５月の時点で当院だけです。

「超」低侵襲TAVIの導入
～局所麻酔 かつ 切開なし～

本治療は通常は全身麻酔で鼠径部切開して動脈を露出して実施しますが、当院では低侵襲な本治療を更に低侵襲とするために、ある一定の基準を満たす患者様には局所麻酔で一切の切開のない超低侵襲TAVIを行っています。これにより患者様の負担が更に軽減できますが、術者や麻酔科医の高い技術を必要とするため、これが可能な施設は全国でもわずかです。今後も更なる改良を続けて、良質な最先端の医療を提供し続けます。

循環器内科部長　当麻 正直／心臓血管外科部長　大野 暢久
ハートチーム一同

お知らせ

3月27日から、病院北側に立体駐車場がオープンしました！是非、ご利用下さい！

ストレスフリーな駐車場が完成しました。

これまで、駐車場・駐輪場の混雑によりご不便をおかけしておりましたが、収容台数を約600台に大幅増加。待ち時間ゼロで駐車可能になりました。さらに駐車スペースを広くお使いいただけ、ストレスなく、お体が不自由な方でも非常に利用しやすい駐車場となっております。ご利用料金についても、短時間の駐車であれば、周辺の駐車場よりお安くなっております。お車でお越しの際には、この開放的でストレスフリーな駐車場を是非ご利用下さい。

駐車場
ご利用料金

- 当日外来受診の方…1回100円
- 左記以外の方…1時間100円
- 障害者の方…無料（外来受診）※障害者手帳の提示が必要です。

スタッフのつぶやき

その人らしい生活を送るためのサポートが出来れば…

リハビリテーション部　作業療法士　玉井 寛子

こんにちは。リハビリテーション部で作業療法士として働いています。

「リハビリ」と聞くと、怪我や病気の人に対して行う歩行訓練や筋トレのようなイメージをもっている方も多いのではないですか？一言で「リハビリ」といっても様々なものがあります。例えば、起き上がったり歩いたりする練習、トイレに行ったりお箸を使うなどの練習、話したり飲み込んだりする練習など、日常生活に関連する事柄すべてをリハビリでは行っています。リハビリテーションが、みなさんにとって辛いものではなく、その人らしい生活を送るための支えとなるよう日々努力しています。そして、リハビリテーション部の一員として、「みなさんが笑顔でより良い生活を送るサポート」が出来るような療法士になりたいと思っています。

5階リハビリテーション室の横には緑豊かな屋上庭園もあるので、リハビリに興味のある方もない方も、一度リハビリテーション室や屋上庭園をのぞいてみてくださいね！

ぶらり～っと病院探訪

継続される「子供たちを見守る心」

院内保育所（病児・病後児保育所の併設）

子供の安全と健康、そして、環境への配慮した新院内保育所

今回は、本年4月に運営を開始し、木の香りも新しい「院内保育所」訪ねてみました。当センターの「院内保育所」は、お父さん・お母さんが安心して病院で働けるよう、平成27年の開院時より病院東側の仮設建物で運営してまいりましたが、病院北側に木の温かみのと質感をそのまま生かした木造平屋建ての木の香りあふれる保育所として4月より運営を開始しています。

新保育所の特徴としては、利用されるお子さんの安全と健康、そして環境への配慮などを考慮しており、扉は勢いよく閉まらない安全構造、建物の周りの防犯砂利、不燃処理した木質建材、ウッドデッキの中庭など、自然や利用されるお子さんに優しく暖かみのある造りだそうです。

また、保育所のテレビ台になっている大きな木製テーブルは、当センター建設前に当地にあった市立尼崎産業高校の敷地で約70年間子供を見守ってきた樹高約10メートルの立派な「くすのき」を加工して作ったもので、「子供を見守る心」が継続して生き続けて欲しいとの願いが込められているそうです。

なお、病気や回復期の子供を一時的に預かる「病児・病後児保育所」も併設しており、尼崎市民の方の利用も受け付けております。

利用申し込みは、「病児・病後児保育所」（06-6489-2460）にご連絡ください。

編集後記

めっきり日差しも強くなり、そろそろ夏本番といったところでしょうか。毎日の通勤は汗びっしょりで、もういやになっちゃいますよね。そんな夏が苦手なわたしですが、今年ついに自動かき氷機を買いました！もうあの行列に並ばずに大好きなかき氷が食べられます♪旦那は、夏に向けて筋トレに励んでいます。いざ海に出て、脱いだらお腹が…なんてカッコ悪いですよね。みなさんもなにか楽しみを見つけて、これからの猛暑日を楽しく乗り切りましょう！（Y.M.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社